



人と出会い支え合い自然とふれあう 活力ある住み良さ創造都市

さんようおのだ

広報

No.215

2014

3.1



公共ホール音楽活性化支援事業

ミニコンサートとワークショップ (高泊小学校)

目 次 CONTENTS

目次

市長から市民のみなさんへ	2
平成 26 年度予算編成方針	4
「観光懇話会」から 提言書が提出されました	5
受賞おめでとうございます 山陽小野田市表彰 スポーツおよび芸術文化奨励賞 山陽小野田市体育協会表彰	6
「1 か所の給食センター」で 学校給食を調理します	8
市民意見公募制度(パブリックコメント) 寄せられたご意見をご紹介します	9
トピックスさんようおのだ	14
休日窓口サービスを実施します など	
情報ひろば	16
市病院局企業職員採用試験 など	
健康だより	18
さあ、学校へ行こう！ 観光ガイド検定クイズ 病院ニュース	20
まちの電車 小野田線の旅 今月のおすすめ料理	21
こちら消防 119 子育て情報ナビ ごみ出しワンポイント	22
各種相談の日程	23
3 月のカレンダー	裏

サポート寄附 (ふるさと納税)

累計【522 件】**21,217,000 円**
(2 月 24 日現在)

人のうつき

(2 月 1 日現在)

世帯	28,453 世帯	(+1)
人口	64,935 人	(-24)
男	30,607 人	(-5)
女	34,328 人	(-19)

※()内は前月との比較



・・・ パソコン、携帯からご利用できます。



・・・ パソコンからご利用できます。

上記のマークがついているものは

「山陽小野田市 WEB 申請サービス」をご利用できます。

パソコンから ☞ <https://s-kantan.com/sanyo-onoda-u/>

携帯電話から ☞ <https://s-kantan.com/sanyo-onoda-k/>



■発行 / 山陽小野田市

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/>

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目 1-1

☎ 82-1111 (代表)

■編集 / 総務課 ☎ 82-1148

ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp

学校給食施設の調理方式を 決定しました

学校給食は、学校給食法に基づき行っていますが、時代の変化とともに、給食施設のあり方も変わってきています。学校給食といえば、かつては自校方式が当然と考えられた時期もありました。その後、複数の学校の給食を一つの学校で調理する親子方式が生まれ、また複数の学校の給食を 1 か所ないし数か所の給食センターで調理するセンター方式など、様々なものが出てきました。最近では学校がまとめて外食産業に委託し、給食時間に届けてもらうデリバリー方式なども誕生しています。本市の給食施設は、小野田地区が親子方式、山陽地区は全て自校方式です。

学校給食には、「食育」と「安全な給食」の実現が求められていますが、教育委員会の説明によると、自校方式、親子方式、そしてセンター方式も「食育」の点では、ほとんど差異はないそうです。しかし、「安全な給食」の点では、本市の現状は、全施設が「ウエット方式※1」で文部科学省の求める「ドライ方式※2」ではないため、床の水はけが悪いなど衛生面に課題があるばかりか、給食施設は全体として老朽化がかなり進んでいて、早期の建て替えが求められていること。にもかかわらず、仮に親子方式に建て替えようとする、建築基準法上の用途地域の制限から、現在地での建て替えはほとんど困難だということです。

もっと肝心な点は、上記のデリバリー方式を

■市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 正文



採らない限り、学校給食の実施には高額な施設建設費が必要なことです。合併特例債を利用するにしても、ほかにもたくさんの公共事業がある中で、学校給食施設についてのみ、全ての市民に過大な負担を求めることはできません。

昨年の夏から秋にかけて市内 12 会場で市政説明会を開き、新火葬場の件と併せて、学校給食施設についても、市民のみなさんのご意見を聞いて回りました。親子方式、自校方式にこだわる方の発言も、たくさん聞かせていただきました。本市の小中学校の学校給食施設の建設費は、1 センター方式、2 センター方式、親子方式（8 校）、自校方式（17 校）の順に高額になります。自校方式には合併特例債が利用できないので、市政説明会の席でも、「本来は自校方式を希望するが、親子方式でもやむを得ない。」との発言もありました。私も、全ての調理方式の給食を試食して回りました。センター方式による給食については、宇部市の小学校に出かけましたが、確かにどこの給食もおいしく、子どもたちが楽しみにしている給食時間でした。

これも市政説明会時の教育委員会の試算ですが、建設費は 1 センター方式で約 20 億円かか

り、親子方式では、その 1.7 倍の約 34 億円。合併特例債を利用しても、本市の負担額は 1 センター方式で約 9 億円。親子方式では約 14 億円になります。

本市は、合併直後の破綻に瀕した財政状況を市民みんなの力で何とか立て直してきました。目下、いくつもの合併特例債事業に取り組んでいます。どの事業にあっても、合併直後の、あの苦しかった時期のことを忘れず、常に財政の健全化を心がけています。上記の差額約 5 億円があれば、どれだけたくさんの子育て支援策や高齢者福祉事業に取り組むことができるでしょう。

以上の理由で、本市の学校給食施設の調理方式は 1 センター方式とし、できれば平成 28 年度の 2 学期から 1 センター方式による学校給食を全市的に実施する予定です。市民のみなさんのご理解をお願いいたします。



※1 「ウェット方式」は、調理機器からの排水を床に設けた排水溝へ流す方式で、排水溝から湯気が上がりやすく、調理場内が高温多湿となり、細菌の増殖に好適な環境となる。

※2 「ドライ方式」は、調理機器からの排水を床下のピット内に施工された排水管を通して流す方式で、床を乾いた状態で使用することで跳ね水による二次汚染を防ぎ、調理場内の湿度を低く保つことで細菌の増殖を抑え、食中毒の発生要因を少なくすることができる。

●平成 26 年度●

予算編成方針

平成 26 年度当初の予算編成にあたっての方針を発表します。なお、本予算は 3 月議会において慎重審議されます。
【問い合わせ先】財政課（☎ 82-1131）

予算編成にあたって

平成 26 年度の状況を見てみますと、税収の一部回復が見込まれるものの、歳入における一般財源総額は、ほぼ横ばいの状況と予測されます。歳出につきましては、人件費・公債費などの義務的経費が減少傾向にあり、一定の行財政改革による効果が見込まれる一方、幼稚園就園奨励費、老人保護措置費等の扶助費や下水道・介護保険・国民健康保険等の特別会計への繰出金は依然として増加傾向にあります。また、新市誕生 10 周年という節目の年を迎える中で、合併特例債を活用した大型建設事業にも引き続き取り組んで参ります。

予算編成にあたりましては、担当部局における創意工夫のもと、引き続き経費の節減と効率的な予算配分により、経常的経費を抑制するとともに、行財政改革による義務的経費圧縮により、政策的経費の財源確保を図りました。加えて、施策については、事業の「選択と集中」を徹底し、健全財政の堅持に努めています。

政策的経費につきましては、防災・減災・消防力の強化など、安心・安全な地域社会の基盤づくりに重点を置いた予算配分を行うと同時に、少子高齢化対策、地域医療の充実、産業活性化や都市基盤づくりに繋がる施策、文化・スポーツや本市誕生 10 周年記念事業をはじめとするイベント施策など、市民生活の向上・住み良さの実感に直結する諸施策の展開を図ることとしています。

また、合併特例債を活用した事業につきましては、新ごみ処理施設の整備、新病院の建設、厚狭地区複合施設の整備等に引き続き取り組むほか、新たに新火葬場および学校給食施設の建設に着手して参ります。

予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という理念に基づき、職員一同、努力して参りますので、市民のみなさんのご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

山陽小野田市長 白井 博文

「観光懇話会」から提言書が提出されました

山陽小野田市の活用すべき観光資源と 具体的な観光振興策について提言

本市では、観光に関する課題や施策の方向性について意見交換を行い、観光推進の参考とするため、昨年8月に観光関係団体と公募市民で構成する「山陽小野田市観光懇話会」を設置しました。会議では、所属する団体や市民の視点から、本市の観光について熱心な議論が行われました。

会議の成果は「提言書」として取りまとめられ、1月28日、市長に提出されました。今後、本市の観光を推進するにあたり、貴重な資料として有効に活用します。



▲観光懇話会から市長へ提言書を提出

◎問い合わせ先：商工労働観光課（☎ 82 - 1151）

提 言 書

山陽小野田市の観光振興策について、観光関係団体から選出された委員10人、山陽小野田市の公募に応募した市民5人が、商工労働観光課の説明、資料提供等を受けながら、5回の協議を重ねてきた。ここにその協議結果を提言する。

(1) 観光振興ビジョンの作成

- ・観光振興のコンセプトを明確にする
- ・人的ネットワークの構築
- ・農協、漁協、商工会議所、観光協会、旅行業、宿泊業、行政等との協働の場（ネットワーク）の構築
- ・コーディネーターやキーパーソンの育成
- ・自然と観光との共存を図る
- ・観光関連業者協議会の設置

(2) 竜王山と焼野海岸を活用した観光振興

- ・竜王山は宝の山であり、以下の観光資源を活用する
【自然】夕陽、夜景、ヒメボタル、アサギマダラ、山野草、ハマセンダン、本山岬の奇岩、竜王山ウォークなど
【歴史】木戸刈屋道、烽台など
【ハード】きららビーチ、きらら交流館、きららガラス未来館など
- ・桜など樹木の整備を行う
- ・関門海峡が望める環境を活かす

(3) 江汐公園を活用した観光振興

- ・森と湖の自然公園であり、四季折々の自然環境を活かした公園づくり
- ・江汐湖と高泊開作の歴史的由縁の紹介

(4) 寝太郎と厚狭毛利ゆかりの地を活用した観光振興

(5) パワースポット・ハッピースポット等の設定による観光振興

- ・きららビーチに幸福の鐘の設置
- ・きららビーチや津布田海岸から望む、関門海峡と夕陽のコラボレーション
- ・竜王山山頂展望台のハートマーク
- ・耳観音、子持御前など

(6) 観光ルートを作る

(7) 情報発信のネットワークづくり

- ・ビジターセンター（観光案内所）の設置（竜王山、焼野海岸、江汐公園、小野田駅前、厚狭駅前、埴生近辺等）
- ・道路に観光案内板の設置
- ・説明者・案内者の育成
- ・説明案内の作成（音声、テープ、CD等）

(8) 名産品・特産品を活用した観光振興

- ・特産品、ご当地グルメ、郷土料理の発掘
- ・他の都市で消費される地産他消の商品開発
- ・名産品販売所の設置・充実
- ・名産品・特産品協議会の設置

(9) イベントを活用した観光振興

(10) 良好な交通アクセスの活用

(11) その他

- ・産業観光の充実
- ・医療観光の検討
- ・ふるさと再発見、ふるさと探訪を推進する
- ・津布田海岸のグルメロードのPR
- ・スナメリ「ひびき君」のPR
- ・観光関係写真コンテストの実施

観光懇話会の会議録、提言書、各資料等は、市ホームページに掲載しています。

受賞おめでとうございます

地方自治に関し永年貢献された方、市の振興発展に永年尽力された方、スポーツおよび芸術文化の分野において優秀な成績を収めた方を表彰いたします。また、各スポーツの大会で活躍された方を表彰いたします。

山陽小野田市表彰

◆自治功労

〈50音順・敬称略〉

【市議会議員】江本 郁夫 三浦 英統
 【農業委員会委員】
 大田 チズ子 津野 薫 山本 シゲ子
 【自治会長】溝渕 義雄
 【消防団員】河村 謙治 久門 武志
 中繁 幸男 山田 春治 山本 康成

◆社会功労

【民生委員・児童委員】
 倉重 勝子 山本 寛
 【人権擁護委員】児玉 邦興
 【保護司】
 阿部 勝 篠原 佐二郎 田中 昌子

◆教育功労

【学校医】伊佐 祐二 野村 忠正

◆篤行

【ボランティア活動】石川 彌洲雄



スポーツおよび芸術文化奨励賞

◆スポーツ奨励賞

〈50音順・敬称略〉

- 第12回全日本短剣道大会
女子個人戦優勝 小松 美緒
- 第34回全日本マスターズ陸上競技選手権大会
2000m障害第1位 村上 文男
- 第8回全日本ジュニア体重別相撲選手権大会
80kg以上100kg未満級準優勝 海上 征久
- 第25回全国高校生銃剣道大会
個人戦女子準優勝 小松 和佳
- カラテドリームカップ2013全国大会
中学女子重量級準優勝 渡邊 紗耶

◆芸術文化奨励賞

- 第19回全国高校生クリエイティブコンテスト
第1部門優秀賞 山崎 理恵



山陽小野田市体育協会表彰

◆体育功労賞

大井 卓也（サッカー） 坂本 守（ゲートボール） 田中 重明（ソフトボール）

◆優秀団体賞

- 第43回中国中学校バスケットボール選手権大会第3位
- 第53回山口県中学校バスケットボール選手権大会優勝 高千帆中学校女子バスケットボール部
- 第15回山口県中学校空手道選手権大会 女子団体組手の部優勝 埴生公民館空手道会
- 第3回全国ママさんバレーボール冬季大会山口県予選大会優勝 LVC 山陽
- 山口県体育大会 ソフトテニス男子C級・女子C級優勝 山陽小野田市
- 第32回全国ママさんバスケットボール交歓大会山口県予選会優勝
- 山口県体育大会 バスケットボール優勝 R/T

◆優秀選手賞

- 第12回全日本短剣道大会
女子個人戦優勝 **小松 美緒**
- 第25回全国高校生銃剣道大会
個人戦女子準優勝 **小松 和佳**
- 第8回全日本ジュニア体重別選手権大会
80kg以上100kg未満級準優勝
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会山口県予選
80kg以上100kg未満級優勝
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会
相撲大会80kg以上100kg未満級出場
- 第68回国民体育大会「スポーツ祭2013」
相撲80kg以上100kg未満級出場
- 第61回中国高等学校相撲選手権大会山口県予選
80kg以上100kg未満級, 無差別級優勝 **海上 征久**
- 平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会
第46回ソフトテニス大会 団体第3位
- 平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会
第46回ソフトテニス大会 個人出場 **中村 紗也加 藤井 美智**
- カラテドリームカップ2013全国大会
中学女子重量級準優勝 **渡邊 紗耶**
- 第34回全日本マスタース陸上競技選手権大会
2000m障害第1位 **村上 文男**
- 平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会
第46回卓球大会 男子個人出場 **杉本 和也**
- 平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会
第48回陸上競技大会 円盤投出場 **玉井 芹菜**
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会
陸上競技大会 女子やり投出場 **長田 善美**
- 第68回国民体育大会「スポーツ祭2013」
水泳 100m自由形出場 **安藤 志穂**
- 第68回国民体育大会「スポーツ祭2013」
バスケットボール 少年女子出場 **木下 果歩 橋本 奈央**
- 第68回国民体育大会「スポーツ祭2013」
クレー射撃 トラップ出場 **永田 恵三**
- 平成25年度山口県体育大会空手道競技
中学男子形個人1年, 中学男子組手個人1年優勝
- はまなす杯第8回全国中学生空手道競技大会
山口県予選 中学男子組手個人1年優勝 **島田 虎太郎**
- 平成25年度山口県体育大会空手道競技
小学2年組手個人男女総合優勝 **梶 ひなた**
- 平成25年度山口県体育大会空手道競技
中学男子組手個人2・3年優勝 **岡野 魁志**
- 平成25年度山口県体育大会空手道競技
中学女子組手個人2・3年優勝 **藤川 詩帆**
- 第13回全日本少年少女空手道選手権大会
山口県予選会 小学2年女子個人戦組手優勝 **青木 美夕**
- 第21回全国中学校空手道選手権大会
山口県予選大会 中学女子個人戦形優勝
- 平成25年度中国地区空手道選手権大会
山口県予選会 中学女子個人戦形優勝
- 平成25年度第15回中国地区空手道選手権大会
中学女子個人戦形第3位
- 平成25年度山口県体育大会空手道競技
中学女子形個人2・3年優勝 **濱本 雅**
- 山口県小学生春季陸上競技大会
小学5年男子1000m第1位 **松尾 留樹也**
- 山口県小学生春季陸上競技大会
小学4年男子1000m第1位 **越智 陽人**
- 山口県中学校春季体育大会水泳
200m自由形, 400m自由形第1位 **濱野 綾人**
- 山口県中学校春季体育大会水泳
女子100m背泳ぎ第1位
- 平成25年度山口県体育大会水泳
女子200m背泳ぎ第1位 **若松 真彩**
- 第29回全国小学生陸上競技交流大会山口県大会
小学5・6年男子ソフトボール投第1位 **岩井 聖征**
- 第33回山口県小学校通信水泳競技大会
25m平泳ぎ第1位 **黒瀬 恵汐風**
- 第33回山口県小学校通信水泳競技大会
50m平泳ぎ, 50m個人メドレー第1位 **濱野 真拡**
- 第17回山口県ジュニアバドミントン大会
男子5年以下シングル優勝 **篠原 僚太郎**
- 平成25年度山口県体育大会中学校相撲競技
個人優勝 **田平 凌大**
- 平成25年度山口県体育大会陸上競技
小学6年男子1000m第1位 **澤重 亮介**
- 平成25年度山口県体育大会陸上競技
50歳以上男子100m第1位 **澤重 知行**
- 第27回全日本シニアソフトボール大会
山口県予選会優勝 **俵 政治 今田 雅一 平中 勝美
安田 龍夫 平中 政明**
- 第28回全日本壮年ソフトボール大会
山口県予選会優勝 **茂刈 保徳**

『1か所の給食センター』 で学校給食を調理します

児童生徒の心身の健全な発達を助け、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たす学校給食。その給食を調理する新しい施設をどの「調理方式」にするかを慎重に検討した結果、児童生徒の「食の安全」確保、次に施設の建設と日々の給食調理に要する費用の市民負担を総合的に判断し、すべての給食を1か所で調理する「センター方式」を選択しました。

国の学校給食衛生管理基準に適合する5,500食規模の給食センターを、合併特例債を活用して高泊校区にある大塚工業団地に建設し、平成28年2学期からの供用開始を目指します。

児童生徒にとって安全・安心で魅力ある給食の提供に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

図教育総務課（☎ 82-1200）



学校給食の実施方式とは？

市が給食施設を建設し、調理から配送まで行う方式（共同調理方式〔センター方式、親子方式※〕、自校方式）と、民間企業に依頼して民間の施設で調理して配送するデリバリー方式があります。

本市の学校給食は現在、小野田地区は親子方式、山陽地区は自校方式で、12校の学校で調理し、5校へ配送しています。それぞれの施設は、その6割以上が昭和40年代から50年代の建物で老朽化が進んでいます。また、すべての施設がウエット方式で、室内が高湿多湿になりやすいとともに、加熱前の肉や魚を扱い、野菜を洗う汚染作業区域と、加熱調理を行う非汚染作業区域を部屋単位で分けた構造になっていません。これからの給食の安全の確保と施設の老朽化に対応するには、国の学校給食衛生管理基準に適合するドライ方式の新しい施設が必要となっています。

※親子方式 調理校で自校（親校）分と配送校（子校）分を調理し、配送校に配送する方式のこと

主な取り組み

- ① 給食を迅速に調理できる設備や器具を揃え、調理方法を工夫し、楽しみが広がる給食の提供に努めます。
- ② 食器を金属製から樹脂製に変更し、正しい食事作法を実践できる環境を整えます。
- ③ 出来上がった給食は保温保冷食缶に入れて、配送専門業者の手で安全確実に届けます。
- ④ 食品選定部会（仮称）を設け、安全な食品を選択し、地産地消を推進します。

- ⑤ 食物アレルギー対応食は、栄養士を追加配置し、独立した専用の調理室で調理し、個別に食缶を用意するなど、安心して食べられる仕組みを整えます。
- ⑥ 米飯は業者委託から給食センターでの自己炊飯に変更し、現在提供していない炊き込みご飯などを献立に加え、和食文化への親しみを広げるとともに、米飯給食の実施回数を増やしていきます。
- ⑦ 栄養教諭から指導を受けた食育推進員を全校に配置し、食育を充実します。



市民意見公募制度

【寄せられたご意見をご紹介します】

「学校給食センター基本計画(案)」にお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方(対応)をご紹介します。

公表が意見公募の締切からおおよそ2年経つ異例の事態を招いたこととお詫びいたします。遅れた理由は、「1センター方式」、「2センター方式」、「親子方式」、「自校方式」それぞれの建設費と当初20年間の運営費の詳細な試算と調理方式の決定に時間を要し、市の方針が定まらず、お寄せいただいたご意見に対して、市の考え方(対応)を回答としてお示しできなかったためです。

このパブリックコメントに多数のご意見をいただき、ありがとうございました。ここに掲載していないものを含め、市の考え方(対応)、基本計画は4月末まで、教育総務課、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所で閲覧できます。また市ホームページにも掲載しています。

【問い合わせ先】教育総務課 (☎ 82-1200)

◇学校給食センター基本計画 とは

本市の学校給食を取りまく現状を踏まえ、学校給食施設の問題点を解決し、安全・安心で充実した学校給食を提供するため建設する給食センターの基本的な計画を策定するものです。

学校給食センター基本計画(案)	【担当課】 教育総務課 ☎ 82-1200
	○公募期間 平成24年3月15日～4月13日
	○意見の件数 142件(42人)
お寄せいただいた意見	市の考え方(対応)
衛生管理・食中毒事故等 「リスクの分散を図らねばならない」とあるが、1か所の給食センターはリスクの集中であって、最も危険な形と言える。	調理員が1か所に多く集まることで、体調管理を行いやすく、予備の調理員を確保しやすいセンター方式の調理場と設備を、国の学校給食衛生管理基準に適合するよう整備し、人と施設の両面から食中毒の発生防止に努めます。
衛生管理・食中毒事故等 (小規模の)メリット①事故発生時、他の学校同士で対応できる。②地域の防災拠点として活用できる。 事故発生時に被害が少ない分、必要な経費も少なくなると考えられる。	①他の学校同士で対応できるようにするには通常より給食施設を大きく造る必要があり、費用がかさむため困難です。 ②災害時に給食施設を活用するためには、水や食品等の確保も大変重要となります。なお、小規模な施設にすると施設を多く造る必要があり、延べ床面積や調理員の数が増え、建設費とランニングコストが高くなるため困難です。

お寄せいただいた意見	市の考え方（対応）
衛生管理・食中毒事故等 万が一、食中毒が発生した場合、原因が判明するまでの間、給食をどう賄うのか。不測の事態を想定すると、被害およびその後の影響を最小限に抑えるためには、複数センターにすべきである。	代替食の確保は困難な状況にあり、給食を再開できるまでは、弁当の持参をお願いすることになります。複数センター方式の有利性はご意見のとおりありますが、建設費、ランニングコストともに大きく増加するため、実現困難です。
給食センターの建設場所 地元住民から災害時に浸水する可能性が高いと指摘されているにもかかわらず、大塚工業団地になぜ固執するのか。	土地の用途規制への適合、用地取得の確実性、道路や上下水道などの社会インフラの整備状況、給食の配送時間の観点から、1センター方式の建設用地として大塚工業団地が最適と考えました。浸水の可能性については、国が公表した南海トラフ巨大地震のデータを基に県が作成した瀬戸内海沿岸で想定される最大クラスの津波による浸水想定が、平成25年12月に公表されました。給食センターは、この浸水想定より高い位置の床高となるように建設します。
給食の配送 「公設公営が望ましい」としながらも、「配送は配送専門の民間業者」とあるのは矛盾を感じる。作って届けるまで学校が責任を負うべきである。	ここでの公設公営とは、給食施設の建設と運営の方法についてのものです。配送業務に限って民間業者に委ねるのは、その方が安全・正確に給食を届けられると考えているためです。なお、委託としたことの責任は市が負います。
給食の配送 この配送計画を実現しようとするれば、しわ寄せがいくのは給食の時間であり、昼休みが短くなることは容易に推測できる。配送する人にも無理が生じるし、何よりもまず子どもたちが時間に追われる。	走行予定のルートをゆっくりと走ってみた上で、基本計画(案)の4(3)に記載の配送車両の台数「7台」を「9台」に増やし、ゆとりある配送となるよう配送計画を修正しました。
給食の配送 各学校での積み降ろしを5分間で行うようになっているが、どのようにして行うのか。	食器かごや食缶を一つひとつ積み降ろしする現在の方法と異なり、車輪の付いたコンテナに食器や食缶を入れておき、そのコンテナを配送車の最後部に取り付けたパワーゲートを使って速やかに積み降ろします。
食育 食育の実現は、校長のリーダーシップの下、栄養教諭等の関係職員・給食調理員・生徒・農漁協・地域ボランティア等の相互の理解と協力なしでは達成できない。山陽小野田市の現状では人的ネットワークもなく、自校方式の学校に食育の理想形はない。センター方式にすれば「教育委員会」の中に食育プロジェクトチームを編成でき、集中型で食育ができる。	食育の推進には、食に関わる様々な人々の理解と協力が必要です。いただいたご意見の趣旨を取り入れ、基本計画(案)の4(5)「食育の推進」の記述に「また、学校給食運営委員会の中に設ける保護者を含めた様々な関係者で構成する献立・食育推進部会（仮称）で協議し、学校給食に関して市全体でバランスのとれた食育を推進していきます。」を追加しました。

お寄せいただいた意見	市の考え方（対応）
食育 給食は、子どもたちにとって大きな関心事で、給食が楽しみで登校する子どもは多い。その給食（を作る施設）が学校内にあれば、たくさんの風景が子どもたちの目に映る。その風景を子どもから奪いたくないと思う。	現在、本市の学校給食で求められているのは、何より安全・安心な給食を安定的に提供できるようにすることです。これを早期に実現できる調理方式が1センター方式であり、学校で給食の調理を行わなくなりますが、給食センターに見学スペースや研修室を造り、児童生徒に献立の作成から給食が出来上がるまでの過程や給食を食べる大切さを学ぶ機会を提供していきます。
食育 教室で先生がマナーを指導しても徹底しないのは単に食器が熱いということだけでなく、最近の食生活の変化により、家庭でも外食でも食器をかかえて食べるメニューが少なくなっているためとも考えられる。むしろプラスチックの方が大丈夫か心配。	現在使用している金属製食器は熱い汁物を入れると熱くなり、手に持ちづらくなるとともに、口に当てたときの感触がよくなく、食べたときの味わいを損ねます。現在は、耐熱性・耐酸性・洗浄性に優れ、傷がつきにくい樹脂系の食器が多く流通しており、心配ないものを使用します。
食物アレルギーの対応 アレルギーに対する対応がどのようなものか、大変不安を感じる。食物アレルギーは、個人によって除去品目や除去の程度、症状の出方も違うし、保護者や主治医の方針なども違い、対応するのに難しい点が多いと思う。	食物アレルギーには、極めて慎重に対応する必要があります。ご指摘を受けて、基本計画(案)の4(5)「食物アレルギーへの対応」の記述に、給食センターに食物アレルギー担当の栄養士を追加配置すること、アレルギー食専用の食缶を子ども一人ひとりに用意すること、食物アレルギー対応の手引きを作成し、対応することを追加しました。
食物アレルギーの対応 徐々に普通食が食べられるような改善も、顔の見えない共同調理場では不可能と思う。	普通食への移行支援は、個々の児童生徒への対応を毎年、医師の診断に基づき、学校長、給食センター長、栄養教諭、養護教諭、学級担任などで構成する食物アレルギー対応委員会(仮称)で検討し、実施するように努めます。
地産地消 5,500食の給食センターでは1人分10gしか使わなくても55kg必要になり、冷凍食品を使うことになると思う。基本計画(案)に「地産地消の推進」とあるが、給食センター化は逆行することになる。	基本計画(案)の3(4)「地産地消の推進」の記述に、「また、地元農家との契約栽培について可能性を模索します。」を追加しました。食の安全確保を前提に、地産地消の推進に努めます。食品が不足する場合は、購入先を広げ、なるべく冷凍食品を避けるよう配慮します。
メニュー・食品等 一度に大量の調理が必要となるため、工数や調理時間を最優先して冷凍食品に頼ることは避けるべきだ。給食は子どもが口にすることで、冷凍食品の多用により味覚への影響が懸念される。保存料等、食品添加物の増量にも繋がり、健康上良くない。	基本計画(案)の4(5)「学校給食運営委員会の設置」の記述に「同委員会には、保護者を含めた様々な関係者で構成する献立・食育推進部会(仮称)や食品選定部会(仮称)を設け、」を追加しました。給食センターに、安全に手際よく調理できる人員と設備を配置し、調理時間を確保するとともに、冷凍食品とその他の食品それぞれの特徴を踏まえ、安全な食品を使用した給食を提供していきます。

お寄せいただいた意見	市の考え方（対応）
メニュー・食品等 センター方式に変わること、実際にメニューや食材がどのように変わるのか、分からない。	現在、炊飯は外部委託していますが、新しい給食センターには炊飯設備を導入し、これまで提供してこなかった炊き込みご飯などを献立に加え、和食文化への親しみを広げるとともに、和食献立のバリエーションの展開に努めます。
調理方式 現在の自校給食室をドライ方式に改造する費用と給食センター（1 か所集中）を単純比較した場合、費用面で給食センター（1 か所集中）が安価との説明があったが、不測の事態を考慮してセンターを複数にした場合、どうなるのか。また、自校給食室をより安全にするためにドライ方式しか手段は無いのか等について、再度検討してほしい。	義務教育諸学校の給食施設は、国と市が資金を出し合って建設します。この建設費のうち市の負担は、1 センター方式と比べ、2 センター方式は約 1.3 倍、自校方式は約 4.6 倍になると見込んでいます。現在の給食施設はすべて旧式のウェット方式のためドライ運用を行って安全の確保に努めていますが、運用に限界があります。本市で早期に国の学校給食衛生管理基準を満足させるには、ドライ方式による 1 か所の給食センターを造るほかにはないと判断しました。
その他 学校給食も市民の財産を使って運営するため、当然、健全経営（運営）が求められる。限られた財政の中で健全な経営があつてはじめて、安心・安全な食事を安定的に提供できると言える。したがって、大きな設備投資は費用対効果を勘案する必要があり、初期投資だけでなく、ランニングコスト、将来の更新コストまで勘案し、意思決定しなければならない。また、将来の生徒数の増減にフレキシブルに対応できる設備でなければならない。これらは学校給食を将来にわたって安定的に提供するための必須条件と言える。	初期投資だけでなく当初 20 年間のランニングコストも踏まえ、1 センター方式を選択しました。設備については、エネルギー効率やメンテナンスのしやすさを考慮するとともに、更新時に食数に見合ったものを選択し、非効率な運営とならないように努めます。
その他 基本計画の「3 基本方針と方向性」にある 4 項目はとても重要で、積極的に取り組む必要がある。しかし、基本計画には具体的な方策は書かれておらず、どのように進めていくのか全く分からない。特に、リスク分散や「食に関する指導内容の充実」の中に書かれている食育は、むしろ自校方式や親子方式の方が達成できるのではないかと。「基本方針と方向性」を実現するためにどのような方式が良いか、もう一度検討してみてもどうか。	安全・安心な給食の安定的な提供は何より重要であり、本市の給食施設の衛生面と老朽化の課題解決のため、限られた財源の中で衛生面に優れたドライ方式の新しい給食施設を早期に整備できる調理方式として、1 センター方式を選択しました。「3 基本方針と方向性」にある 4 項目の具体的方策については、「4 施設整備と運営等」に現時点で示しできるものを記載しています。学校における食育は、そのほとんどが教室で行われており、調理方式の違いによる影響はわずかと判断しています。1 センター方式に移行すると栄養教諭等の数が減少しますが、すべての学校に栄養教諭から指導を受けた食育推進員を配置し、食育の取り組みを活発にしていきます。
その他 今ある給食室はどうするのか？	配膳室に改装して継続使用します。

「山陽小野田市健康づくり計画書改訂版(案)」にお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方(対応)をご紹介します。

なお、改訂版の全文は、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所で閲覧できます。また市ホームページにも掲載しています。
【問い合わせ先】健康増進課 (☎ 71-1817)

◇健康づくり計画書改訂版 とは

この健康づくり計画書改訂版は、第一次山陽小野田市健康づくり計画(平成 20 年度～平成 29 年度)の中間年度にあたり、中間評価アンケートを実施し、見直しを行ったものです。

健康づくり計画書改訂版(案)	【 担 当 課 】
	健康増進課 ☎ 71-1817
	○ 公 募 期 間 1月6日～1月31日
お寄せいただいた意見	○意見の件数 6件(1人)
	市の考え方(対応)
表紙 表題に「平成 25 年度版」,「平成 25 年見直し」等の文言を入れたほうが分かりやすいのではないか。	(平成 26 年 3 月改訂版)を追記します。
第Ⅳ章 健康づくり計画 SOS 健康・情報センター(中央駅)がどこにあるかが不明であるため、場所を明記したらどうだろうか。	市民を結びつけるネットワーク(駅と中央駅)のイメージ図の中には場所を明記していますが、文章の中に追加します。
第Ⅳ章 健康づくり計画 SOS 健康・情報ステーション(駅)の具体的な場所を明記したらどうだろうか。	平成 26 年 1 月 31 日現在、107 か所の SOS 健康・情報ステーション(駅)があります。資料編で一覧表にして掲載したいと考えています。
第Ⅳ章 健康づくり計画 現状値からの課題および目標値は今回見直したのか。見直したのなら、表題にいつ見直したのか明記したほうが分かりやすいのではないか。	現状値からの課題および目標値については、今までの計画書には行政の課題や目標値の設定がなかったため、今回の中間見直しで追加した項目です。
第Ⅳ章 健康づくり計画 SOS の認知度が非常に低い、その原因をどのように解析し、高めようとしているのか。具体的な方策はあるのか。	現在市民等で組織される SOS 健康づくり計画運営委員会「かたつむりで行こう会」と協働で計画の推進を行っています。今後もあらゆる機会を利用して PR に努めます。
資料編 中間評価の結果および保健事業の実績の各データがいつのものか不明であるため、調査時点を明記すべきではないか。また、この項目の表題が目次の文言と異なっているため一致させるべきではないか。	第Ⅳ章 7 事業評価(1)中間評価には、調査時点を記載していますが、資料編にも追加して記載したいと考えています。また、目次との整合性を図ります。



休日窓口サービスを実施します

住民異動の多い時期の休日に、市役所本庁で窓口業務を行います。

◎開庁日 3月30日(日)、4月6日(日)
9:00～13:00

■市民課 (☎ 82-1140)

- ・各種証明書の交付
住民票の写し、戸籍謄本・抄本 等
- ・印鑑登録の受付、印鑑登録証明書の発行
- ・住民異動届の受付
転入・転出、転居、世帯変更 等
- ・戸籍届書の受付
婚姻、離婚、出生、死亡、養子縁組 等
- ・自動車臨時運行許可

※他機関への照会が必要なもの、住基ネットおよび電子証明に関するものは取り扱いできません。

■税務課 (☎ 82-1126)

- ・各種証明書の交付

納税証明書、所得・課税証明書 等

- ・台帳閲覧
- ・税の収納

■国保年金課 (☎ 82-1179)

- ・国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金に関する届出および申請
- ・国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の収納

※他機関への照会が必要なものは、取り扱いえない場合があります。

■高齢障害課 (☎ 82-1172)

- ・介護保険、高齢者、障がい福祉に関する届出および申請

■こども福祉課 (☎ 82-1175)

- ・児童手当、児童扶養手当、乳幼児・ひとり親家庭医療費助成の申請

■学校教育課 (☎ 82-1202)

- ・住民異動に伴う就学関係の届出

〈問い合わせ先〉企画課 (☎ 82-1130)



平成26年度市民交通災害共済

交通事故に遭われた人に対して、その会費から見舞金をお支払いする相互扶助の制度です。今回から申込方法が変更されています。ご注意ください。

◎対象

市内に在住し、住民基本台帳に記載されている人(その家族で学生の場合は市外在住でも可)

◎掛金

- ・中学生以下、70歳以上 300円
- ・上記以外 500円

※1人1口、途中加入の場合も同額です。

◎補償額

- ・死亡 1,000,000円
- ・傷害 7,000円～230,000円

◎共済期間

4月1日～平成27年3月31日

※途中加入の場合、申込日の翌日から

となります。

◎申込方法

生活安全課、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所に備え付けの申込書に記入し、申込先の金融機関に掛金を添えて提出

※申込書は、申込先の金融機関にも備え付けています。

◎申込先

山口銀行、西京銀行、中国5県のゆうちょ銀行・郵便局、山口宇部農業協同組合

■給付対象期間は

共済期間中の事故で共済期間内についてのみ給付対象となります。したがって、入院・通院が契約更新日(新年度)にまたがる場合は、必ず継続加入申込みをしてください。

〈問い合わせ先〉生活安全課 (☎ 82-1133)



◎国民健康保険 高齢受給者証を送付します

自己負担割合が1割の人は、新しい高齢受給者証を3月中旬に普通郵便で郵送します。なお、現在お持ちの高齢受給者証は、4月1日以降使用できませんのでご自身で処分してください。

3割負担の人は、現在お持ちの高齢受給者証を引き続き使用してください。

高齢受給者証の対象となるのは、70歳の誕生日の翌月1日（誕生日が1日の人はその日）からです。新たに70歳になる人には、高齢受給者証を誕生日月（1日生まれの人は誕生日月の前月）の中旬に普通郵便で郵送します。なお、自己負担割合は下表のとおりです。

区 分		自己負担割合
70歳から74歳の被保険者で課税対象所得が145万円以上の人がない世帯	昭和19年4月1日以前に生まれた人	1割
	昭和19年4月2日以降に生まれた人	2割
70歳から74歳の被保険者で課税対象所得が145万円以上の人がある世帯 ※収入額によって例外があります。詳しくはお問い合わせください。		3割

〈問い合わせ先〉国保年金課（☎ 82・1179）



◎風水害の防災・減災を目指した最新の研究成果の活用

～洪水・高潮災害を事例として～

厚狹地区の水害について研究した成果を自主防災対策として実践していたため、講演会・体験会を開催します。

◎とき 3月16日(日)

13:30～15:30（開場 13:00）

◎ところ 文化会館

◎聴講料 無料

と き	内 容	講 師
13:30～13:40	文部科学省 地域防災対策支援研究プロジェクトについて	文部科学省研究開発局 地震・防災研究課職員
13:40～14:30	山口大学による防災・減災に関する研究成果の紹介～地域防災対策支援研究プロジェクトの成果報告～	山口大学農学部 教授 山本 晴彦
14:30～15:00	自主防災組織・防災士にできること、望むこと	NPO 日本防災士会山口県支部 事務局長 幸坂 美彦
15:00～15:30	自主防災組織での研究成果の活用体験	山口大学農学部 教授 山本 晴彦

〈問い合わせ先〉総務課（☎ 82・1122）

国民健康保険に加入の

70歳から74歳までのみなさんへ

地域防災対策支援研究プロジェクト

地域報告会・研究成果体験

お知らせ

個人市・県民税均等割の税率が引き上げられます

東日本大震災を踏まえ、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源を確保するため、平成26年度から35年度までの間、個人県民税および個人市民税の均等割の税率が臨時に引き上げられます。

	均等割額（年額）	
	現行	改正後
個人県民税	1,500 円	2,000 円
個人市民税	3,000 円	3,500 円
合 計	4,500 円	5,500 円

※県民税には、やまぐち森林づくり県民税 500 円が含まれます。

- 問い合わせ先
税務課（☎ 82-1125）

家計見直しセミナー

- とき
3月27日(木) 10:30～12:00
- ところ 労働会館
- 講師 温品 富美子（㈲）ケイ・アンド・ワイ人材育成部）
- 聴講料 無料
- 定員 50 人（先着順）
- 問い合わせ先
連合山口中部地域協議会
（☎ 84-6789）

コンパクトなまちづくりに関する市民アンケート

少子高齢化が進むこれからの社会における今後のまちづくり計画の貴重な基礎資料として活用するため、市民のみなさんが、現在居住している住まいや生活環境についてどのように感じているかをお伺いします。

市内在住で18歳以上の人から無作為に抽出した2,000人を対象に、3月上旬にアンケート用紙を発送します。みなさんのご協力をお願いします。

- 問い合わせ先
都市計画課（☎ 82-1163）

軟式野球・ソフトボールチームの登録



■軟式野球

- 対象 市内在住・在職者のチーム（野球部員である高校生を除く）
- 登録料 35,000 円
- 受付期間
随時受付（受付時期により参加試合に制限有）

■ソフトボール

- 対象 18歳以上の男子（高校生を除く）のチーム
- 登録料 17,000 円
- 受付期限 3月10日(月)
- 問い合わせ先
体育協会事務局（県立おのだサッカー交流公園内 ☎ 81-3100）

就学援助制度の申請

小中学校に納める給食費や学用品費、修学旅行費などの支出が経済的に困難な保護者で、認定基準に該当する人を対象とした援助制度があります。

- 申込方法 学校教育課、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所に備え付けの申請書に記入し、申込先へ提出
- 申込期限 4月30日(水)
- 申込先 学校教育課、山陽総合事務所地域活性化室
- 問い合わせ・申込先
学校教育課（☎ 82-1202）

募集・試験

剣道教室・居合道教室

- 対象 市内在住・在職の18歳以上の人（高校生を除く）
- とき
4月11日(金)～来年3月末
- 剣道教室
毎週火・金曜日 19:30～
- 居合道教室
毎週木曜日 18:30～
- ところ 武道館
- 参加料 4,000 円（保険料込み）
- 問い合わせ・申込先
生涯スポーツ課（県立おのだサッカー交流公園内 ☎ 81-3100）

【広告掲載欄】掲載についてのお問い合わせは総務課（☎ 82-1148）まで。

既存の基礎や柱を活かして、耐震補強と共に1棟まるごと再生。

新築そっくりさん

新築そっくりさん 山口 検索
m.sokkuri3.com

山口西ショールーム **リフォーム相談会随時開催中!!**
【新築そっくりさんの特長】

① **完全定価制**
最初のご契約から工事中にシロアリ被害などの予期せぬトラブルがあっても、追加費用は頂きません。
※お客様によるオプション追加変更工事は別途工事費が必要です。

② **建物診断**
建物診断後、最適な住まいプランをご提案。
無料

③ **検査体制**
住まいの品質を保つ為、「検査センター」を設置。

まずは無料建物診断から!

住友不動産 山口西ショールーム 山口市小郡黄金町13-23
新築そっくりさん ☎ 0120-313-231

第22回 ～早春のふれあいを求めて～

椿まつり in Ejio



〈とき〉3月21日(祝)
10:00～15:00

〈ところ〉江汐公園（管理棟・グリーン広場 ほか）

イベント

椿の展示、各種バザー、もちまき、ステージイベント、バードウォッチング(8:00 管理棟集合) など

【問い合わせ先】江汐公園管理棟（☎ 83-5378）

第8回花と緑を語ろう会

早春の江汐公園には春を待ちわびる小さな木の芽が並んでいます。講師の説明を聞きながら園内を散策してみませんか。参加者には苗木を進呈します。

- 対象 小学生以上
- とき 3月21日(祝)
10:30～12:00(受付10:00～)
※天候により内容を変更する場合があります。
- 集合場所 江汐公園管理棟
- 講師
笹尾 克之(自然観察指導員)
- 参加料 無料
- 定員 30人(先着順)
- 申込期限 3月17日(月)
- 申込方法 都市計画課窓口または電話にて申込み
- 問い合わせ・申込先
都市計画課(☎82-1162)

きらら交流館 3月開講教室

■春の行楽弁当づくり教室

- とき
3月13日(木) 14:00～17:00
- 講師 真鍋 正彦(春駒亭店主)
- 受講料 2,000円(材料費込み)
- 定員 16人(先着順)
- 持参するもの
エプロン、米1合

■親子お菓子教室

- 対象 5歳から小学校までの児童とその保護者
- とき
3月30日(日) 13:00～15:00
- 講師 原口 陽子
(La petit prince 主宰)
- 受講料
1組3,000円(材料費込み)
- 定員 12組24人(先着順)
- 持参するもの
エプロン、三角巾、室内履き
- 申込方法 電話にて申込み
- ところ・問い合わせ・申込先
きらら交流館(☎88-0200)



宇部市と広報紙で情報を交換しています。

ときわ公園 春のキャンペーン

【問い合わせ先】常盤公園活性化推進室(☎54-0551)

- キャンペーン期間 3月16日(日)～4月20日(日)
- 期間中のイベント
 - ガラポン抽選会 3月16日(日)
 - ぶちのリバポート 3月21日(祝)
 - 秋吉台サファリからふれあい動物がやってくる 3月23日(日)
 - フラワーフェスタ 3月30日(日) ○さくらまつり 4月6日(日)
 - さくら夜間ライトアップ 3月21日(祝)～4月13日(日)
 - わがまち・地球のいきもの展 3月21日(祝)～5月6日(休)

市病院局企業職員採用試験



■薬剤師(1人程度)

- 対象 昭和58年4月2日以降生まれで、薬剤師免許を有する人(平成25年度実施の国家試験で取得見込みの人を含む)

■臨床検査技師(1人程度)

- 対象 昭和48年4月2日以降生まれで、臨床検査技師免許を有する人(平成25年度実施の国家試験で取得見込みの人を含む)

■上級病院行政(1人程度)

- 対象 昭和58年4月2日以降生まれで、学校教育法に規定する大学を卒業した人(平成26年3月卒業見込みの人を含む)

- 受付期限 3月20日(木)(必着) ●第1次試験日 3月30日(日)

- 採用予定日 平成26年5月1日

※受験申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

- 申込書の配布場所・問い合わせ・提出先 病院局総務課(☎83-2355)

地域公共交通会議の委員を公募します

道路運送法の規定に基づき、山陽小野田市の実情に即した住民生活に必要な輸送サービスの実現に必要な事項を協議する場として設置される会議です。会議は、原則平日に開催し、1年に数回(1回2時間程度)程度の予定です。

- 応募要件 20歳以上の市民(国・地方公共団体の議員・職員および市暴力団排除条例第2条第3号に規定する暴力団員等を除く)
- 報酬 会議1回につき1,000円
- 募集人数 3人(委員全15人中。応募多数の場合は応募理由により選考)
- 任期 委員となった日から2年間
- 応募方法 商工労働観光課、仮設山陽総合事務所、南支所、埴生支所、公園通出張所、厚陽出張所に備え付けの応募用紙に記入し、提出してください。郵送、FAX、E-mailでも構いません。応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。(提出書類は返却しません)
- 提出期限 3月14日(金)(消印有効)
- 選考結果 直接本人に通知します。
- 問い合わせ・提出先 商工労働観光課(☎82-1150 FAX 83-2604)

◎お子さんの予防接種はお済みですか？

予防接種は対象年齢内であれば、無料で接種を受けることができます。健康状態に十分気をつけ、できるだけ標準的な接種年齢で予防接種を受けましょう。

■麻しん・風しん混合ワクチン（MR ワクチン）

対象年齢		接種回数
第1期	1歳～2歳未満	1回
第2期	5歳～7歳未満で小学校就学前の年長児相当	

※平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれの方は3月31日(月)までが無料期間です。

■日本脳炎（定期の予防接種）

対象年齢		接種回数	標準接種期間
1期初回	生後6か月～90か月未満	6日～28日間隔で2回	3歳～4歳
1期追加	生後6か月～90か月未満	1期初回の接種終了後 概ね1年の間隔をおいて1回	4歳～5歳
2期	9歳以上13歳未満	1回	9歳～10歳

※平成7年4月2日から平成19年4月1日までの間に生まれた人で、定期の予防接種を受けていない人は、上の表に限らず20歳まで予防接種を受けることができます。

○持参するもの 母子健康手帳、予防接種予診票

●費用 無料（対象年齢を外れると実費）

※予防接種には保護者（親権者）の同意署名が必要です。

※小児科以外の医療機関でも実施しています。詳しくは健康増進課へお問い合わせください。

【乳児健康診査】

（母子健康手帳・乳児健康診査票持参）

●対象 生後1・3・7か月児

※各医療機関にお問い合わせのうえ、受診してください。

【1歳6か月児健康診査】

（母子健康手帳・健康診査票持参）

■小野田保健センター

○とき 3月14日(金) 13:00～14:00

※対象者には、健康診査票を送付します。

【3歳6か月児健康診査】

（母子健康手帳・健康診査票・尿持参）

■小野田保健センター

○とき 3月28日(金) 13:00～14:00

※対象者には、健康診査票を送付します。

【すくすく相談】

（母子健康手帳持参）

お子さんのことで心配なこと、分からないことはありませんか。子育ての悩み、気になることなどの相談に応じます。

●対象 乳幼児とその保護者

●内容

乳幼児の身体計測、育児相談、栄養相談

■小野田保健センター

○とき 3月27日(木) 9:30～11:15

【すくすくベビーサークル】

母子保健推進協議会では、育児不安の解決や子育ての仲間づくりの支援を目的とした、すくすくベビーサークルを開催しています。親子で楽しいひとときを過ごしませんか。

●対象 0歳～1歳3か月児とその保護者

■小野田保健センター

○とき 3月27日(木) 10:00～11:30

○内容 色画用紙でつくる「指人形」

【平成25年度分

「不妊治療費」の申請はお早めに】

市および県では、不妊に悩む人の経済的負担を軽減するため、不妊治療費の一部を助成しています。申請期限は3月31日(月)までです。申請書は期限内に余裕を持って提出してください。

※詳しくは、広報「さんようおのだ」2月1日号14ページをご覧ください。



休日や平日夜間に急に体の具合が悪くなったら…？ 次の医療機関で受診できます。

山陽小野田市急患診療所 【一次診療所】 旭町(小野田保健センター併設) ☎ 84-3632	内 容	開設日	診療時間
	平日夜間 内科(高校生以上)	月～金(祝日を除く)	19:00～22:30
	小児科休日 小児科	日曜日・祝日	9:00～12:00 13:00～17:00

休日応急 担当医	小野田医師会 (9:00～17:00)		厚狭郡医師会 (9:00～17:00)
	内 科	外 科	
▶ 3/ 9(日)	小野田赤十字病院 須恵東 ☎ 88-0221	小野田赤十字病院 須恵東 ☎ 88-0221	あいべ内科クリニック 宇部市船木茶屋 ☎ 69-2678
▶ 3/16(日)	山陽小野田市民病院 旭町 ☎ 83-2355	山陽小野田市民病院 旭町 ☎ 83-2355	あさひクリニック 殿町三 ☎ 71-0148
▶ 3/21(祝)	山口労災病院 南中川町 ☎ 83-2881	山口労災病院 南中川町 ☎ 83-2881	かわむら内科 渡場 ☎ 78-1433
▶ 3/23(日)	中村内科胃腸科医院 日の出四丁目 ☎ 84-3131	松岡整形外科 北竜王町 ☎ 81-3818	くどうクリニック 宇部市万倉芦河内 ☎ 67-0903
▶ 3/30(日)	山陽小野田市民病院 旭町 ☎ 83-2355	山陽小野田市民病院 旭町 ☎ 83-2355	てらい内科クリニック 末益 ☎ 71-0022

◎厚狭日の入り外来(平日)事業を終了します

平成21年6月から実施してきた「厚狭日の入り外来(平日)事業」は、3月31日(月)をもって終了します。急患診療所等をご利用ください。

【介護者の集い】

日ごろの介護についての悩み、疑問などを一緒に話しあってみませんか。

※送迎については、社会福祉協議会(☎ 83-2344)にご相談ください。

- とき 3月17日(月) 13:30～15:00
- ところ 中央福祉センター

【健康相談】

- 内容 測定(血圧・体脂肪率・塩分濃度)、健診結果、栄養相談、尿検査、禁煙相談

■小野田保健センター

○とき 3月13日(木) 9:30～11:30

■仮設山陽総合事務所

○とき 3月20日(木) 9:30～11:30

【小野田医師会 健康ミニ講座】

- とき 3月27日(木) 14:00～15:00
- ところ 中央図書館
- 演題 「最新糖尿病情報」
- 講師 矢賀 健(山口労災病院副院長)
- 参加料 無料
- 定員 80人(先着順)
- 問い合わせ先 健康増進課(☎ 71-1814)

【3月は自殺対策強化月間です】

悩みを抱えた人にとっては身近に相談できる人の存在が重要です。あなたの周囲に気になる人はいませんか？ 次のような症状がある人には声をかけ、早めに受診を勧めてください。

《こんな症状があるときは…》

- ・疲れているのに2週間以上眠れない
- ・食欲がなく体重が減っている
- ・だるくて意欲がわからない

●こころの健康相談窓口

健康増進課(☎ 71-1814)

高齢障害課(☎ 82-1170)

県宇部健康福祉センター精神・難病班

(☎ 31-3200)

※上記の相談窓口の時間はいずれも8:30から17:15です。(土・日・祝日を除く)詳しくはお問い合わせください。

こころの健康に関するリーフレット「大変なときこそ体と心を大切に～こころが少し疲れた人のためのリーフレット～」を市役所、健康増進課、公民館等に備え付けています。詳しくは、健康増進課までお問い合わせください。





大人への節目の行事「立志式」

本市の小中学校では、児童・生徒の夢や希望を育む教育を行っています。

多くの中学校では、職場体験学習を経験した2年生が高校受験を1年後に控えたこの時期に、将来へ向けて志を立てる「立志式」を行っています。

2月8日(土)には、高千帆中学校で保護者を招いて「立志式」が行われました。はじめに、自分の将来の希望やこれまで支えてくれた家族への感謝などを書いた作文を、全員が各教室で発表しました。その後、体育館に集まり、各学級の代表生徒が作文を発表し、全員で校歌を合唱しました。

ピンと張り詰めた空気の中、生徒は厳粛な態度で「立志式」に臨んでいました。着実に大人へと成長している我が子の姿に、保護者は目を細めていました。



▲教室で全員が作文発表



▲代表生徒の作文発表

【問い合わせ先】学校教育課 (☎ 82-1201)

観光ガイド 山陽小野田 検定クイズ

わがまち「山陽小野田」のことをみなさんはどれだけ知っているか、問題にチャレンジしてみてください。

Q39

毎年3月に老舗造り酒屋の蔵開き等も行われる「おひなさまめぐり」が開催される場所は、次のうちどれでしょうか？

- ①小野田駅前商店街周辺
- ②厚狭商店街周辺
- ③旦の皿山地区周辺

Q40

旧小野田セメント株式会社の鎮守社として建立された住吉神社。境内には、当時セメント製造で使用したものを灯籠として利用しています。それは何でしょうか？

- ①フレットミル(粉碎機)のローラー
- ②レンガ製の煙突
- ③銅製のパイプ

※解答と解説は4月1日号に掲載します。

前回の解答と解説

A37. ② 333 個

有帆片山地区の伝統行事「百万遍念仏」で回す大数珠は、長さ約10mで玉の数は大小合わせて333個あります。

A38. ③ ゴルフ場

ゴルフ場は山陽地区に集中して6か所あります。山口国体では、少年男子ゴルフ競技が開催されました。

山陽小野田観光協会(商工労働観光課内 ☎82-1313)

市民病院 ニューズ



禁煙外来を行っています

禁煙外来とは、医師が禁煙を身体・精神的にサポートする専門外来のことです。どうすれば上手に禁煙ができるかを一緒に考え、禁煙補助の処方などを行います。たばこをやめたいと思っている人や禁煙に失敗した人に受診をお勧めします。

◎診察日 毎週月曜日 ◎診察時間 14:00～16:00

※診察は予約制です。前の週の金曜日までに予約してください。

臨時職員を募集しています

◎職種 正看護師 ◎勤務内容 病棟勤務(交代制勤務有り)

※詳しくはお問い合わせください。



山陽小野田市民病院 ☎ 83-2355 <http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/shiminbyoin/>

小野田駅
JR 山陽本線

山陽小野田市 JR 美祢線・小野田線利用促進協議会（商工労働観光課内 ☎ 82-1150）



◆まちの電車◆小野田線の旅⑨ 最終回・小野田線「妻崎駅」、そして未来へ



小野田線の旅シリーズも今回で最終回。妻崎駅から徒歩約10分のところには、ボウリング場がある。プレーの前に歩いて体をほぐすには、ちょうどよい距離ではないだろうか。

さて、小野田線は来年で開業100周年を迎える。長きに渡り、地域の交通を支え続け、街とともに発展してきた。最近では、自家用車の普及、宅地の郊外化、少子化等により利用者が大きく減少して赤字路線となっており、運行回数が減っている。これは、高齢者や通学生等交通弱者の交通手段の確保が困難になるとともに、地域の活力維持にも影響してくる。今後の小野田線の再生のためには、従来から取り組まれている運行ダイヤの改善や駅の整備などの交通事業者を中心とした取り組みだけでは難しく、利用者側である地域住民、学校、企業等も小野田線の利用を促進していくことが重要である。市民のみなさんが1年に1回小野田線に乗るだけで、状況は大きく変化する。

まちの電車・小野田線の旅は、3人の職員が3駅ずつ担当してきた。どの駅も地域の駅として大切に利用されていると感じた。乗って残そう小野田線！頑張れ小野田線！

今月のおすすめ料理

「袋煮キャベツ餃子」

～具たくさんで、油揚げに味がじっくりしみこんだ一品です～



材料（4人分）

油揚げ	4枚(72g)	だし汁	2カップ
キャベツ	200g	砂糖	大さじ2
生しいたけ	2枚(30g)	みりん	大さじ1
豚ひき肉	180g	酒	大さじ1
卵	1個	しょうゆ	大さじ1と1/2
A 片栗粉	大さじ1	はなっこりー	4本(60g)
しょうゆ	小さじ1		

【1人分栄養価】エネルギー251kcal／たんぱく質15.4g／脂質14.2g／塩分1.3g

作り方

- ①油揚げはめん棒などで軽くたたいてから油抜きをし、半分に切って袋状にする。
- ②キャベツは千切りにし、しいたけは石づきを除いて粗みじん切りにする。
- ③ボールに豚ひき肉と②とAを入れ、よく混ぜる。
- ④①の袋状にした油揚げの中に、③を8等分にして詰め、袋の口をつまようじで止める。
- ⑤鍋にBと④を入れて中火にかけ、煮立ったら弱火にして15分程度煮る。途中で半分に切ったはなっこりーを入れて煮る。
- ⑥器に盛り、はなっこりーを添える。

■保健センター監修 ■山陽小野田市食生活改善推進協議会（出合校区担当）



食事バランスガイド

今回の料理は“副菜1つ、主菜2つ”に該当します。



みなさんの暮らしを守ります！

こちら消防 119

消防団員を募集しています

消防団では、火災や風水害などから地域住民の生命・財産を守るために活動しています。

しかし近年、消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、今こそ「新たな力」「若い力」を必要としています。あなたのボランティア精神を消防団活動に役立ててみませんか？

入団資格

- ◆ 郷土愛に満ちあふれ、地域防災に熱意を持っている人
- ◆ 市内に居住、または勤務の人
- ◆ 18歳以上40歳以下で健康な人



消防団員募集
地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

消防団ってどんなことをするの？

● 平常時

消火訓練、器具取扱訓練、消防車の点検整備、管内のパトロール、住宅防火診断等

● 災害時

消火活動…火災の際の早期消火
警戒活動…台風、豪雨などの風水害や自然災害の際の、河川の水位警戒、土のうづくり、土のう積み、避難誘導等

小野田消防署消防団係 (☎ 83-2037)



子育て 情報ナビ



病児・病後児保育

お子さんがインフルエンザなどの病気にかかった時などに、病児ケアハウスを利用することができます。病気のために保育園や幼稚園、小学校での集団生活が困難で、仕事の都合等のため、家庭での保育ができない場合に、お子さんを一時的に預かり保育を行います。保育にあたっては、小児科医のもとで預かりますので安心してご利用いただけます。

●対象 小学3年生まで

●保育日 月～土曜日（祝・休日は除く）

※保育時間については、各実施施設にお問い合わせください。

●保育料 1日あたり2,000円

※減免制度があります。

●登録料 1人1,000円（初回のみ）

●利用方法

事前に実施施設に登録し、利用前に電話で予約

実施施設

・小野田病児ケアハウス

住吉本町一丁目3-24

(☎ 81-0434)

・病児ケアハウスキッズあさひ

殿町三

(☎ 71-0148)



こども福祉課 (☎ 82-1207)



【問い合わせ先】

環境課 ☎ 82-1143

■パソコンを処分するには？

不要になったパソコンは、回収・リサイクルが義務付けられており、ごみステーションに出すことができません。小型家電回収ボックス（投入口40cm×20cmに入るものに限る）に投入する、環境衛生センター（☎ 83-3651）に持ち込む、もしくは、パソコン3R推進センター（☎ 03-5282-7685）にお問い合わせください。

※メーカーや販売店に直接回収を依頼することもできます。



資源ごみ売却収入

指定ごみ袋手数料収入

1月分

5,397,384円

1,291,579円

平成25年度累計

42,990,502円

14,965,617円

困りごと・悩みごとの相談に応じています。
相談は、お住まいの地区にかかわらずどの会場でも受けられます。

相談名	ところ	問い合わせ先	と き
▶ 司法書士による法律相談	生活安全課	☎ 82-1133	10日(月) 9:00～11:00 ※8:40～8:50受付・抽選 (定員10人・先着順ではありません)
▶ 弁護士による法律相談	生活安全課	☎ 82-1133	24日(月) 13:00～16:30 ※12:20～12:30受付・抽選 (定員10人・先着順ではありません)
▶ 行政相談	山陽総合福祉センター 生活安全課	☎0570-090110 (山口行政評価事務所)	12日(水) 9:30～12:00 19日(水) 10:00～12:00
▶ 人権相談	人権・男女共同参画室 山陽総合福祉センター	☎ 82-1137 (人権・男女共同参画室)	11日(火) 9:30～12:00 12日(水) 9:30～12:00
▶ 心配ごと相談	赤崎公民館 高千帆福祉会館 山陽総合福祉センター 埴生公民館	☎ 81-0050 (社会福祉協議会)	6日(木)・25日(火) 9:00～12:00 6日(木)・25日(火) 9:00～12:00 5日(水)・12日(水)・26日(水) 9:00～12:00 19日(水) 9:00～12:00
▶ 福祉まるごと相談	中央図書館	☎ 81-0050 (社会福祉協議会)	14日(金) 14:00～16:00
▶ 家庭児童相談	こども福祉課	☎ 82-1175	毎週月～金曜 8:30～17:15 ※平日夜間・土・日・祝日は 中央児童相談所(☎083-922-7511)で受付
▶ 教育相談	小野田児童館 2 階 山陽勤労青少年ホーム	☎ 84-5416 ☎ 72-1998	毎週月曜 14:00～16:00(祝日を除く) ※心の支援室(☎82-1188)で予約を受け付けて いますが、当日直接来られても構いません。
▶ 交通事故相談	厚狭幹部交番	☎ 84-0110 (山陽小野田警察署)	毎週月・水・木曜 9:00～15:00(祝日を除く) ※電話予約が必要です。
▶ 市民相談	生活安全課	☎ 82-1133	毎週月～金曜 8:30～17:15(祝日を除く)
▶ 消費相談	消費生活センター	☎ 82-1139	毎週月～金曜 8:30～17:15(祝日を除く)
▶ 福祉相談	中央福祉センター 山陽総合福祉センター	☎ 83-2050 ☎ 72-1813	毎週月～金曜 8:30～17:15(祝日を除く)



「心の健康相談会」を開催しています

心の不調、
感じていませんか？

市民グループ「心聲の会」と市が共催し、毎月第2水曜日に、無料で心の健康相談会を開催しています。日々の生活でのストレスや悩みを、相談員に打ち明けて、解決の糸口を一緒に考えてみませんか。直接お越しいただくか、電話相談も受け付けます。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

【3月の相談日】

3月12日(水) 9:00～12:00

◆ところ・問い合わせ先

生活安全課 (☎ 82-1133)



ヤングテレホンさんようおのだ

☎84-2000

受付日時/毎週(月)～(金) 8時30分～17時(土・日・祝日は留守番電話で対応します) ☐ youngtel@city.sanyo-onoda.lg.jp

気軽にご相談ください(いじめ、不登校、友人関係、家族関係、性の悩み、子育て等)

さんようおのだ 3月のカレンダー



カレンダー内の記号

◇…相談日
○…その他

♥…健康だより
回…今号の掲載ページ

月…イベント



山陽オート本場開催日

外：場外発売

 ＜表紙の説明＞ 2月20日、文化会館での公演を2日後に控えた梶ヶ野亜生、山野安珠美による箏デュオ“Dual KOTO×KOTO”の2人が高泊小学校を訪れました。音楽演奏会と地域との交流を支援する「公共ホール音楽活性化支援事業」を活用しての事業で、学校では、児童と合奏したり、箏の奏で方を教えたりしながら交流を図りました。		1[±] 月 消防展 ～2日 (おのだサンパーク) 月 縄地ヶ鼻水仙まつり (縄地ヶ鼻公園) 外				
2^日 月 山陽小野田ふるさと 祭あげフェスティバル (きららビーチ焼野) 外	3^月 ◇行政書士による遺言・相続無料相談会 (市役所) 外	4^火 外	5^水 ◇心配ごと相談 回 ♥3歳6か月児 (仮設山陽総合事務所) 外	6^木 ◇心配ごと相談 回 ♥すくすく相談・ベビーサークル (仮設山陽総合事務所) ♥健康体操 (赤崎公民館) 外	7^金 ♥健康体操 (出合公民館) 外	8[±] 月 アラ還フェスティバル (文化会館) 月 少年サッカーフェスティバル ～9日(県立おのだサッカー交流公園) 外
9^日 月 街なかフリーマーケット (小野田駅前中通り) ○不妊を考える集い (市民館) 外	10^月 ◇司法書士による法律相談 回 外	11^火 ◇人権相談 回 外	12^水 ◇行政・人権・心配ごと相談 回 ◇心の健康相談 回 外	13^木 ♥健康相談 回 月 おんがくであそぼう (文化会館) 外	14^金 ♥1歳6か月児 回 ◇福祉まるごと相談 回 外	15[±] 月 ファミリー・タイムコンサート (文化会館) 月 さんようおのだふるさとウォーキング (厚狭公民館) 外
16^日 ○地域防災対策支援研究プロジェクト 地域報告会・研究成果体験 回 外	17^月 外	18^火 外	19^水 ◇行政相談 回 ◇心配ごと相談 回 ○埴生地区公共施設再編に係る意見交換会 (埴生公民館) 外	20^木 ♥健康相談 回 外	21^祝 月 椿まつり in Ejio 回 月 高校サッカーフェスティバル ～24日【下段】 外	22[±] 外
23^日 外	24^月 ◇弁護士による法律相談 回 外	25^火 ◇心配ごと相談 回 外	26^水 ◇心配ごと相談 回 外	27^木 ○家計見直しセミナー 回 ♥すくすく相談・ベビーサークル 回 ○小野田医師会健康ミニ講座 回 外	28^金 ♥3歳6か月児 回 外	29[±] 外
30^日 ○休日窓口開庁 回 月 泥んこ2014 (高泊神社近くの田) 外	31^月 外	1^火 外	 市議会定例会日程 3月25日(火)まで 代表質問・一般質問は5日(水)・6日(木)・7日(金)・10日(月)の予定です。 開議会事務局 (☎ 82-1182)		《お知らせ》 広報「さんようおのだ」3月15日号等の配付文書は、3月17日(月)の自治会便で発送します。	

pick up!

第33回 高校サッカーフェスティバル

と き 3月21日(祝)～24日(月)

と ころ 県立おのだサッカー交流公園 ほか

○西日本各地から多数の高校が参加します。ぜひ、応援にお越しください。

☎ 体育協会事務局 (☎ 81-3100)

pick up!

第16回 厚狭ねたろうの里 おひなさまめぐり

と き 3月8日(土)～16日(日)

と ころ 厚狭駅前商店街各所

○お雛様・さげもん展示のほか、期間中は土日を中心にイベントを開催します。ぜひお越しください。

☎ おひなさまめぐり事務局 (山陽商工会議所内 ☎ 73-2525)